

福井 みな子 市政報告

3月定例会は、2/16から3/22までの36日間にわたって開かれ、新年度予算をはじめとするすべての市長提出議案、議員提出議案が可決されました。なお、新たな教育長には、芦屋市教育委員会において学校教育室長を務められた野村大祐氏が任命されました。



令和6年度予算を可決



check!



- < 予算 > 一般会計予算は、物価高騰重点支援給付金事業や行政ネットワークシステム関係経費などの増加につき、前年度比7.4%増の469億6,400万円。特別会計予算は259億7,000万円(前年度比8.2%増)で国民健康保険事業特別会計における療養給付費及び事業費納付金が減少。一方、JR芦屋駅南地区再開発事業に係る用地取得費・補填費等が増加。一般会計・特別会計・企業会計の総額で883億4,323万円(前年度比6.6%増)となりました。
- < 一般会計歳入 > 歳入全体の49.9%と最も大きな割合を占める市税は前年度比0.5%減の234億4,168万円とわずかに減少。地価上昇を反映し、固定資産税は増加する一方、定額減税により個人市民税は減少の見込み。
- < 一般会計歳出 > 民生費は177億78万円(前年度比11.5%)で物価高騰重点支援給付金及び児童手当が増加。教育費も小中学校の施設整備費用の増加により、前年度比3.6%増の52億8,023万円が計上されました。

令和6年度の主な事業

子育て・教育

乳幼児等医療費助成制度及びこども医療費助成制度の拡充	4億3,772万円
不妊治療ペア検査助成	57万円
心のケア支援推進事業(PEACEサポーター配置事業)	1,123万円
不登校児童生徒支援事業	1,229万円
学校体育館空調設置に係る設計業務	3,574万円



福祉

まちづくり

地域公共交通実証運行支援業務	2,425万円
ブランディングエリア活性化事業	800万円
カラス等対策事業	177万円



高齢者生活支援センターの増設	1,601万円
新型コロナウイルスワクチン接種事業	7,214万円



市民1人当たりの公共サービスに必要な金額：495,505円

私からひとこと!

今回、高島市長にとって初の予算編成となり、「子育て・教育」「福祉・防災」「みらいの都市づくり」に力点を置く内容が示されました。

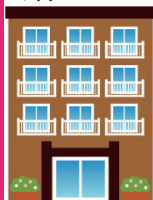
具体的には、支援員配置による不登校対策や教職員のスキルアップ策など公教育改革に関わる事業をはじめ、こども医療費助成制度の拡充、既存の公共交通網から離れている地域におけるデマンド交通等実証運行実施の検討、カラス対策など、生活に密着した取り組むべき課題の解消に向けて早急に着手することを評価します。これらは、市民の要望が高まっていたにもかかわらず、これまではなかなか進められなかった課題の数々です。

来たる少子高齢・人口減少社会では、市民の安全・安心を支える持続可能な財政基盤の強化が求められます。将来世代に負担を先送りすることのない、魅力あるまちづくりを進めるためにも、限られた財源のもと、「選択と集中」による慎重な行財政運営を行うことが重要だと考えます。



「マンション管理を適正に行うことを推進する条例案」が可決されました

芦屋市では、7割近くの方が共同住宅等に居住しています。今後は高経年マンションが増加することを踏まえて、老朽化対策や維持管理の適正化などについての条例が制定されました。



この条例は、管理組合によるマンションの自律的かつ適正な管理を図ることで、市民生活が安定し、本市の魅力が向上することを目的としています。

今後、マンションの老朽化に伴い、居住者の高齢化・非居住化も進行し、管理組合の担い手不足、維持管理に対して無関心になるなどのケースが想定され、管理組合の機能の低下が懸念されますが、この条例の制定により適正管理の向上が期待できるのではないのでしょうか。

デマンド交通等の実証運行に向けた検討を開始します

芦屋市には、公共交通網から離れている空白地域があります。70歳以上の高齢者を対象とした「高齢者バス運賃助成事業」は、そのような地域の方が受けることができず、長年問題になっていました。

私も、この課題について過去の一般質問で取り上げましたが、この度、ようやく令和6年度予算に「デマンド交通等の実証運行支援」という形で計上され、検討が始まります。対象地区は三条町と山芦屋町の2町で、今後、運行を担う業者の募集が行われます。時間を要してしまいましたが、誰もが安全・安心で快適に移動できるまちづくりを目指すうえでの一歩前進であると評価します。

デマンド交通：予約する利用者に応じて運行する時刻や経路が変わる交通方式のこと。縮小する公共交通機関の代替手段として全国で導入が進んでいる。

空白地域：一定の場所に駅やバス停がない地域を指す。本市では、鉄道駅から500m、バス停から300mの圏域外を、公共交通の空白地域と定めている。



打出教育文化センター・図書館打出分室・打出公園が新しくなりました

地域住民を交えて進めてきた、当エリアの一体的な整備が終了し、4/1にリニューアルオープンしました。打出教育文化センターでは教育の研究等が行われていますが、市民の文化活動や交流の場としても供用されます。また、2階には、不登校、不登校傾向の児童・生徒が安心して過ごせる「のびのび学級」が設置されています。まずはこの居場所から、社会との関わりの第一歩を踏み出せることを期待します。

打出公園は、村上春樹氏のデビュー作「風の歌を聴け」に登場する「猿の檻のある公園」のモデルです。長い間残されていた巨大な檻は、子どもたちの安全を考慮して撤去し、その一部が公園内のモニュメントや打出教育文化センターの壁面インテリアの形で残されています。

図書館打出分室には、自動貸出機や図書の消毒機が設置されました。この自動貸出機は、平成28年12月議会で要望したものです。



お猿の檻の
モニュメント

PhotoReport



佐賀県武雄市へ会派
視察「ICT教育」
武雄市図書館も見学



能登半島
地震支援募金



第76回
卒業式々々場
芦屋市立第五中学校
卒業式

◆3月議会トピック
◆米寿(88歳)と百寿(100歳)の敬老祝金の廃止
◆ネーミングライツパートナー決定により、名称が変わります(4/1より)
◆芦屋市立体育館・青少年センター↓シンコースポーツ体育館・青少年センター
◆川西運動場↓シンコースポーツグラウンド
◆命名権料は、年間100万円(体育館・青少年センター)と50万円(運動場)で、施設関連費用に充てられます。契約期間は、5年間。
◆災害時の廃棄物処理に関する協定を締結
◆連携して円滑に対処できるように、市と大栄環境株式会社(神戸市東灘区)の間で結ばれました。

福井みな子
春風が心地よく、心華やぐ季節となりました。私たちの心を和ませる、この季節の移ろいも、昨今の地球温暖化により乱れ始めていることが懸念されます。この冬は過去二番目の暖かさでしたが、気象庁は「地球温暖化がなければこのような高温となる確率は非常に低かった」と発表。
節度を保ちつつ地球にやさしく接する姿勢を、私たちも今一度、考えてみませんか。

編集後記

市政報告Vol.52 R6年4月発行
＜事務所＞芦屋市打出町1-13



事前にご連絡のうえ、お気軽にお越しください。

TEL & FAX : 34-0240